

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月20日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	22120
政策名 (章)	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます	評価担当課	環境保全部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 相模川の保全と魅力づくり		みどり対策課
施策名	相模川の魅力づくり	課長名	柳川 勝

1 施策の概要・目的

相模川の豊かな自然を守り、相模川を自然と調和した市民の憩いの場として活用し、市民に快適な空間を提供するとともに、歴史や文化の保全と振興に取り組む。

2 施策の現状

相模川計画に基づく施設整備が概ね完了している中で、今後施設の維持管理やソフト展開の充実が望まれている状況にある。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

680,743 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

1,105 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **45** 番目です。

(4) 施策に要している人員

3.96 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	相模川ふれあい科学館入館者数の開設当初に対する割合	入館者数を市民ニーズの一つの指標として捕らえる	現状	6.5 万人 単位	0 50 100	目標年度
			目標	10 万人 単位		19 達成度 65%
指標2	相模川クリーン作戦年間参加者数1人当たりのごみ収集量 年間収集量÷年間参加者数(kg)	河川美化意識の向上を指標として捕らえる	現状	1.95 kg 単位	0 50 100	目標年度
			目標	1.5 kg 単位		19 達成度 76.90%
指標3			現状	単位	0 50 100	目標年度
			目標	単位		達成度 %

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

環境意識やアウトドアレジャー志向の高まりから市民の関心も高い施策である。

6 有効性…期待される効果があがっているか

相模川沿岸のイベント(納涼花火大会や大風など)は、十分市民生活に定着している。
また、キャンプ場、ふれあい科学館等の施設についても、それぞれ年間数万人規模での来客がある。相模川散策路についても、散歩やジョギング、ハイキングを楽しむ市民の姿が多く、高い効果をあげている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

平成12年度の市政世論調査によると、「自然」について他市と比べて誇れるものとして、約60%の市民が『相模川』を挙げていることから、十分効果が上がっていると考えられる。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

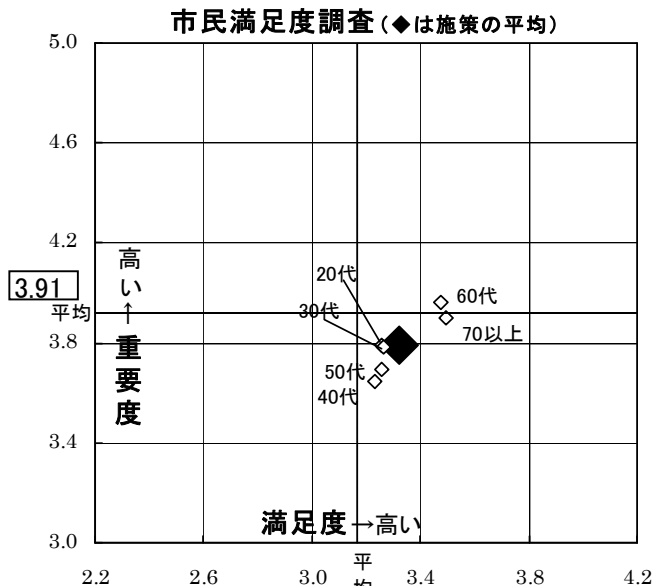
◆この施策の満足度は、3.320で、調査した51施策の中で11番目です。

◆この施策の重要度は、3.790で、調査した51施策の中で33番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.332で、調査した51施策の中で39番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度ともに60歳代以上で高く、40歳代及び50歳代で低くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

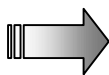


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

不法投棄や施設損壊などの違法行為に対して、河川管理者が県であるため迅速な対応が困難な場合がある。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

相模川に集い、学び、遊ぶための拠点施設である相模川ふれあい科学館の再生に取り組む。市民ボランティアを育成し、川に対する正しい安全知識や理解の普及に努める。

11 2次評価

説明
<input type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input checked="" type="checkbox"/> C

相模川の魅力づくりに向けた河川敷の有効活用について検討を行うこと。なお、相模川ふれあい科学館やキャンプ場については、有効性や市民ニーズを検証し、あり方について検討を行うこと。

12 外部意見

説明
他市に誇れる財産として活用が図られるよう、県の協力のもと更に施策の充実を図るべきである。

施策名 相模川の魅力づくり

施策コード 22120

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額 (千円)	人員 (人)	評価の概要								施策中の優先順位	
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		今後の進め方
施設管理運営費 (ふれあい科学館 公社分)	みどり対策課	15	112,425	0.02	B	B	A	B	/	/	A	B	継続	3
施設管理運営費 (ふれあい科学館 本課分)	みどり対策課	15	1,827	1.27	AA	B	A	A	/	/	A	B	継続	6
相模川沿岸施設等維持管理費	みどり対策課	14	32,632	0.10	AA	A	A	A	B	B	A	/	継続	2
相模川散策路整備	みどり対策課	14	—	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
相模川沿岸広場等整備	みどり対策課	14	—	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
相模川を愛する会補助金	みどり対策課	14	4,107	0.10	AA	A	A	A	B	B	A	/	継続	4
キャンプ場整備事業	商業観光課	15	421	0.50	AA	B	A	A	/	/	A	B	継続	7
ふれあい科学館 施設維持補修費	みどり対策課	14	23,522	0.10	A	A	A	B	A	B	B	/	継続	1
ふれあい科学館 特別展示等委託	みどり対策課	14	7,182	0.05	AA	B	A	B	B	A	A	/	継続	5
新磯地区複合施設整備事業	商業観光課	15	468,341	0.20	AAA	A	A	A	/	/	A	A	完了	再掲
市観光協会補助金	商業観光課	15	8,520	0.60	B	B	A	C	/	/	B	B	継続	再掲
泳げ鯉のぼり相模川	商業観光課	15	14,822	1.00	/	B	B	B	/	/	A	A	継続	再掲
緊急雇用創出対策事業 キャンプ場受付事務委託	商業観光課	15	6,944	0.02	AA	A	A	B	/	/	A	A	継続	再掲

合計 13 事務事業

680,743 千円 3.96 人 平成14年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、公平性